

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 151-8578  
 住 所 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号  
 氏 名 東日本旅客鉄道株式会社  
 代表取締役社長 深澤 祐二  
 (代理人) エネルギー管理センター所長 末弘 保  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東日本旅客鉄道株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町8番3号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	33	電気業
主たる事業 の内容	列車運転用電力供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	616,137	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※事業者番号	3015
		※特記事項	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.jreast.co.jp/eco/">http://www.jreast.co.jp/eco/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	( 2018 年度)	( 2019 年度)	( 2020 年度)	( 年度)	
排出量 ( t-CO2)	(実) 19,572 (調) 19,572	(実) 21,574 (調) 21,574	(実) 22,891 (調) 22,891	(実) (調)	(実) 20,295 (調) 20,295
削減率		(実) -10.2 % (調) -10.2 %	(実) -17.0 % (調) -17.0 %	(実) % (調) %	(実) -3.7 % (調) -3.7 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原単位等の活動量	発電量			原単位等の単位	g-CO2/kWh
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	( 2018 年度)	( 2019 年度)	( 2020 年度)	( 年度)	
排出量原単位等の値	409.6	409.4	411.7		408.7
活動量の値	2,549,684	2,806,630	2,876,034		3,204,997
排出量原単位等の削減率		0.0 %	-0.5 %	%	0.2 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	別添のとおり
第2年度	別添のとおり
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

2020年度目標 ・鉄道事業のエネルギー使用量6.2%削減（2013年度比） 2013年度実績(化石由来エネルギーと非化石由来エネルギーの合計)：517億MJ
2030年度目標 ・鉄道事業のエネルギー使用量40%削減（2013年度比） 2013年度実績(化石由来エネルギーのみを対象とし、非化石由来エネルギーは除く)：414億MJ ・鉄道事業のCO2排出量50%削減（2013年度比） 2013年度実績：215万t-CO2
2050年度目標 ・鉄道事業のCO2排出量「実質ゼロ」

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>事業所としての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率の高い発電機を優先した運転を行うことによる抑制</li> <li>・ 構内電灯のLED化による所内電力消費の抑制</li> <li>・ 供給停止の防止に向けて発電設備の点検結果を評価し必要に応じ是正を行う。</li> </ul>
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率の高い4号発電機を優先した運転を行うことによる抑制を実施。</li> <li>・ 構内屋外電灯(9箇所)、2号建屋(15箇所) 更新時にLED化による所内電力消費の抑制を実施。</li> <li>・ 供給停止の防止に向けて発電設備の点検を行い、必要な修繕を実施。</li> </ul>
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率の高い4号発電機を優先した運転を行うことによる抑制を実施。</li> <li>・ 構内屋外電灯(12箇所)、事務所棟(114箇所) 更新時にLED化による所内電力消費の抑制を実施。</li> <li>・ 供給停止の防止に向けて発電設備の点検を行い、必要な修繕を実施。</li> </ul>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	規模：18kW 導入場所：川崎発電所1号機	2021年導入予定

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	○	その他 ( )	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	19,572 t-CO <sub>2</sub>	21,574 t-CO <sub>2</sub>	22,891 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	543,561 KL	598,050 KL	616,137 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎発電所	神奈川県川崎市川崎区扇町8番3号	19,572	21,574	22,891	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度